

★*.....*★

メールマガジンで語り伝える 「今を生きるスターリイマンの物語」
～感謝の風船ラブレター～ 2014.03.19 vol.20

★*.....*★

☆ごあいさつ☆

皆様、お変わりございませんか？

昨日から春のお彼岸に入り、
一日一日と暖かい春になって、
早くも南から桜前線の便りが…
心もホッとあたたかくなりますね。

さて、本日から第7話として、
埼玉県知事の上田清司氏を
ご紹介させていただきます。

それでは、まず第1章の
上田清司氏との出会いを
ご紹介させていただきます☆

最後まで、お読みいただけましたら
とても嬉しいです。

☆第7話 埼玉から日本を変える☆
埼玉県知事 上田清司 氏

第1章 ～上田清司氏との出会い～

埼玉県に住んでいる私たちにとって、
埼玉県民でよかったなと思える理由のひとつに
上田知事の実績があります。

迅速な判断力と行動力をもって、
いつもひたむきに政治を行っているお姿は
本当に素晴らしく、心から信頼しています。

そんな上田知事とのご縁が深まるきっかけとなったのは、
2010年の6月のことでした。

4年に1度のFIFAワールドカップが、
南アフリカで開催されるこの年。

オリンピックの後に、パラリンピックが行われるように、
知的障害者の方のワールドカップも8月に予定され、
日本代表選手の出場が決まっていました。

しかし、6月上旬に、3000万円の資金難のために
日本選手たちの出場が危ぶまれていることを
知的障害者サッカー連盟とご縁のある方からお伺いして、
私たちは強い衝撃を受けました。

タイムリミットは一ヶ月。
悩んでいる時間はありません。

必ず日の丸を背負って、世界の舞台で夢を叶えてほしいと、
私たちは「夢のきずな募金」を立ち上げて、
とにかく色々な方々に応援を呼びかけました。

「浦和レッズ」と「大宮アルディージャ」という
J1で活躍するチームが2つもある埼玉県からの応援も
是非いただけたらと願い、すべての想いを手紙に託し、
上田知事にもお願いさせていただきました。

すると、私がお便りを出してからなんと2日後に、
上田知事からの嬉しいお返事が届いたのです！

前略 資料ご送付ありがとうございました。
知的障害者サッカーについて、
私に出来ることがあれば、ご連絡ください。

敬具

平成22年6月23日
上田清司

私は喜びと感謝でいっぱいになりながら、
すぐに県庁に御礼のお電話をさせて頂くと、
日本選手たちに向けた応援メッセージを
横断幕に書いて頂けることになりました。

6月27日。知事室で、お忙しいご公務の中、
私たちのことを温かく迎えてくださった上田知事。

そして、上田知事のおかげで、
埼玉では、さいたま市長の清水勇人氏や
テレビ埼玉や埼玉新聞社ほか、
多くの心ある企業様、団体様、個人の方々に
応援していただけることへと繋がったのです。

その後、約40日余りの間、関東近郊だけでなく、
日本全国の方々から本当にたくさんのご支援を頂き、
無事、選手達を南アフリカに送り出すことが出来ました。

大会直前の8月6日に行った壮行会で、
選手達の嬉しそうなキラキラした笑顔を見て、
本当によかったと感動と感謝で涙が溢れました。

その前の年の2009年7月6日に
上田知事からお手紙を頂いた際には、
こんなお言葉を書いてくださっていました。

お手紙ありがとうございます。
人の夢を応援することは、言葉で言うのは簡単ですが、
実際はとても難しいことだと感じています。

私の好きな言葉に、
「夢は逃げない。逃がすのはいつも自分だ。」
という言葉があります。
これは、教育委員会がまとめた中高生の
「心に残る言葉」の中にあつたものです。

皆さんの益々のご活躍をお祈りしております。
これからも是非頑張ってください。

私もスターリマンのように埼玉県民の
愛や夢や、希望や元気を後押しできるよう、
一生懸命頑張っていきます。

日本選手達、そして私たちのスターリマンとなって、
ワールドカップ出場の夢を応援して頂き、
公の立場をこえて、ご自身が大切だと感じられたことに
すぐに動いてくださった知事に改めて感銘を受けました。

それから、上田知事には、私たちの活動の近況を
随時、お手紙でご報告させて頂くようになりました。

その度に、お手紙をお送りしてから
必ず2～3日以内に届く直筆のお返事には
毎回がんばる勇気と励ましを頂きました。

特に、2011年3月11日の東日本大震災後、
沖縄の皆様の応援で立ち上がった
「スターリマン紙芝居プロジェクト」については、
これまでに何と15通ものお返事を頂き、
いつも私たちの心を支えて頂きました。

その何通かをご紹介します。

【2012年2月15日】

はせがわいさお様
ファミリー様

前略

ご丁寧な報告ありがとうございます。
とても素晴らしい活動をしていただき感謝します。
皆さまによろしく。ご自愛ください 敬具

【2012年3月29日】

はせがわいさお様 よしみ様 祐希様

前略

いつもお便りありがとうございます。
とても素晴らしい活動に心が洗われます。
被災地の子供達の顔が見えるようです
本当にありがとうございます。

ご健勝にて 草々

【2012年5月24日】

はせがわいさお様
ファミリー様

前略

すばらしい活動ありがとうございます。
心から拍手をさせていただきます。
よろしく申し上げます。 敬具

【2012年6月吉日】

はせがわ芳見様

東北復興支援活動ありがとうございました。
いい出会いをたくさんされたようですね。感謝

【2012年7月7日】

はせがわ芳見様

前略

いつも報告ありがとうございます。

本当にすごい活動です。
まさに絆の連続です。
とても暑い夏になりました。
ご自愛下さい。 敬具

埼玉県に住んでいながらも、
東北や沖縄など県外での活動が多い私たちですが、
どんなにお忙しい日々であっても、
いつも温かく想ってくださっている上田知事に
よいご報告をお伝え出来るように
これからも精一杯がんばりたいと思います。

そしていつか、地元の埼玉県のため
少しでもお役に立てたらと心から願っています。

☆第7話 埼玉から日本を変える☆
埼玉県知事 上田清司 氏

第2章は、3月29日(土)配信予定です!

上田清司氏との出会いはいかがでしたでしょうか?

今年の6月から、ブラジルで
ワールドカップが開催されます。
上田知事との出会いから、4年になるんですね。

ずっと変わらない、上田知事の真心を感じて、
心が温かくなって、感謝が込み上げています。

また、精一杯頑張ろう!
信頼して応援してくださっている
上田知事に応えて行きたいと素直に思います。

さて、今回は、第2章 上田知事の前風景です。
配信は、3月29日(土)となります。
皆様、どうぞお楽しみにお待ちください☆

☆後記☆

おかげ様で、先日3月9日(日)に、
スターリマン朗読音楽コンサート in 郡山
「いつも君のそばにいるよ」～あなたの大切な人にありがとうをこめて～を
無事に開催してまいりました。
<http://starryman.cocolog-nifty.com/blog/2014/03/39-c419.html>
<http://starryman.cocolog-nifty.com/blog/2014/03/39in-3e43.html>

郡山の実行委員会の皆様に、たくさんたくさん支えて頂き、
ご参加頂いた皆様から、感動のご感想をたくさん寄せて頂いて、
本当に素晴らしいサンキューありがとうの日を
皆様と過ごすことが出来ました。心から感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、この福島県郡山での「ありがとう」の想いがつながって 次は沖縄へ…

5月11日(日)の母の日に、スターリマン朗読音楽コンサートinおきなわ
「いつも君のそばにいるよ」～母の日にありがとうをこめて～を
沖縄タイムスさんのホールで開催いたします。
祐希は、その打合せのために、17日から沖縄に行っています。

沖縄の皆様からも温かな応援を頂いているようで、
祐希から嬉しい報告メールが届いています。
(昨日は、偶然にも鬼澤さんとご一緒させて頂いたようです!)
<http://ameblo.jp/onikko-nikki/entry-11799370555.html>

沖縄の皆様とも素敵な時間を過ごせますように、
コンサートに向けて、一生懸命に頑張ります♪

コンサート以外にも、4月25日(金)には、
沖縄県教育委員会さんから 講演会のご依頼を頂いたり、
図書館さんや美術館さんなどで イベントをさせて頂くことになったりと、
昨年に引き続き今年の4月5月も 沖縄での活動の輪が色々と広がりそうです。

春、もうすぐ旅立ちの季節。
新たな出会いが皆様に幸せを運びますように…
それでは、また次回のメールマガジンまで
どうかお元気でお過ごしくださいませ☆

はせがわ芳見

★*.....*★

メールマガジンで語り伝える 「今を生きるスターリマンの物語」
～感謝の風船ラブレター～ 2014.03.29 vol.21

★*.....*★

☆ごあいさつ☆

皆様、お変わりございませんか？

今日も春の光がいっぱいに輝く良いお天気。
ウキウキ心弾む桜の季節が訪れましたね。

さて、今週末は、3月最後の土日。
きっとお出かけになる方も多いと思います。

私は、明日の夜、さいたま芸術劇場に
現代版組踊「息吹～南山義民喜四郎伝」という
福島県の南会津の小・中・高校生による舞台を
主人と娘と3人で観に行く予定です。

<http://www.minamiaizu.jp/ibuki.html>

この舞台は、南島詩人である平田太一氏が
地域に眠る伝承・伝説にアレンジを加え、
沖縄に伝わる琉球古典芸能「組踊」の手法を用いた
次世代の若者を育成するためのプロジェクトです。

沖縄県のうるま市の子ども達と共に作り上げた
現代版組踊「肝高の阿麻和利」から始まり、
沖縄県内だけでなく、日本各地に広がり注目されています。

南会津の子ども達が、自分の故郷を全身全霊で表現することで、
地域に誇りを持ち、未来を担う原動力になってほしい。
そんな、大人の人たちの想いが込められています。

本日、明日と開催されますので、是非、皆様も足をお運びください！

さて、第7話「今を生きるスターリマンの物語」。
本日は、第2章の埼玉県知事 上田清司氏の
家族の原風景をお送り致します。
最後までお楽しみ頂けましたら嬉しいです。

☆第7話 埼玉から日本を変える☆

埼玉県知事 上田清司 氏

第2章 ～上田清司氏の家族の原風景～

上田知事にインタビューのお願いのお手紙をお送りさせて頂いたのは、昨年12月のこと。

すぐに、埼玉県庁の総合調整幹室の田島様よりご返事を頂き、インタビューの日程調整をして頂きました。

そして、今年の1月29日(水)の11時から30分間、ご多忙なご公務の中、貴重なお時間を頂きまして、知事室にてインタビューをさせて頂きました。

当日は、どきどきわくわくする気持ちを抑えながら、上田知事から色々なお話をお伺い出来た、とっても幸せな時間でした。

さて、上田知事の「埼玉から日本を変える」その原点とは…

Q1. 上田知事のご両親のことを教えてください。

私は大正8年生まれの父と、大正3年生まれの母の次男として、福岡県福岡市で生まれました。

兄妹は2才ずつ違う兄と妹がいます。

父は大牟田市の生まれ、母は福岡市(旧・周船寺町)生まれです。母の家はその町の長をしておりました。

終戦後に、豪農だった母の家で、母は兵隊さんたちの食事のお世話をしていたその時、父と出会って、結婚しました。

復員してきた父は、福岡駅の天神で商売をはじめました。
商店街の会長をしていたぐらい、成功していたようです。

私は幼くて覚えていませんが、
その頃の写真が残っていて、
裕福な家庭で育ったようです。

兄が幼稚園に通っていた時に、
幼稚園の行事には、母しか行っていなかったようです。

そのあと、事業に失敗をして、
私が小学校に上がる少し前に、
父の故郷である大牟田に帰りまして、
また、商売を始めました。

父は私に、あんまり大きな夢を与えたり、
指針を与えてくれたりはしませんでした。
ただ、小さい時、よく歴史の物語とかを話してくれました。

それはやっぱり私にとって、歴史に興味を持ったり、
本を読むきっかけを与えてくれました。

そのくせひどいんですよ。
中学3年生の時、自分のおこずかいを貯めて、
日本文学全集を48巻注文したんです。
最初の一巻が届く日に、
楽しみに学校から帰ってきたら、届かないんです。

次の日も届かないので、本屋さんに電話をしたら、
お断りになりましたよと言われて…
断ったのは父だったんですよ。親がこの程度でしたから。

まあ、父も働くことで一生懸命で、当時は教育とか
そんな事を気にしていられなかったのだと思いました。

母はきれい好きでテキパキとしていて。
躰もうるさくて、特に箸の持ち方の練習をさせられました。
2つの茶碗を用意して、豆を箸でつまんで、
交互に入れる練習をずっとさせられましたね。

また、おこげを食べさせなかったですね。
出世しないとってね。底に張り付いたものを
食べてはいけないとってね。
本当は、私はおこげが好きだったんですよ。

また、我が家は少しきたりがうるさく、
箸をつけるとか、風呂に入るとか、我が家には、順番がありました。

Q2.どんな子供時代を過ごされましたか？

私は小さい時から兄と違い、とっても不器用だったんですね。
運動会の障害物競走なんて、はしごをうまくぐれなかったり、
足を早く結べなかったりで、いつもどん尻のほうでした。

親が見ている時に、えーかっこ見せたことがなくて、
親が見ていない高校生になってから、
スポーツもほとんど3番以内になっていました。

負けず嫌いで、逆上がりができなかったら、
一日残って、手に血豆が出来ても、やって帰りましたね。

跳び箱が飛べなかったら、
学校中の跳び箱を全部飛んで帰ったとか、
クリアしないと気が済まない子でした。

親からお兄ちゃんはすぐに覚えるけどと、兄と比較されて。
親がこんな教育をするのは良くないですね。

小学校時代の夏休みは、母の実家で過ごしていましたね。

母の兄弟姉妹は8~9人いて多かったので、
母の実家にお盆の3日間ぐらいに、
いとこ、はとこが40人ぐらい集まって、
2階の大広間の部屋に全員で寝泊まりしました。

母の実家の前には、清流が流れていて、
魚もたくさん捕れたし、海にも歩いていったし、
遊ぶことはほとんどやりましたね。
同時に遊びに、必ず「工夫」「改善」がありましたね。

ビー玉もベーゴマもメンコ(写真パッチと言っていたんですが)も、
町内で一番強かったんですね。
他の町内までも征服にいきましたからね。

当時はプロ野球選手や映画俳優とかの写真がついたものを
ハサミで切って、50枚ぐらいを20円とか30円で買ったりして、
それを切って束にして、普通ハガキの大きさぐらいを
100枚積み上げて、勝負したんですよ。

1枚返しは、一番上を1枚返したら勝ち。
2枚返しは、1枚返したら勝ち。
どうしたら瞬時に2枚だけを返すことができるかを、
そして、枚数を揃えるのは相手側で揃えるんです。

きれいに揃えたほうが、風が起きにくいんですね。
出っ張った方が風が起きやすいんですね。
色んな工夫や努力をして、色々と揃え方や技も考えてね。
(そのやり方を実際に見せて説明していただきました)

現状に満足することがなかったので、
どうすれば可能かということを考えて、
向きなんかも見ながらやってましたね。自分で考えて。

ダンスの中に山積み貯めていたものを、
もうそろそろやめる時だなあと思ったら、
すぐにやめて、後輩たちや年下の子たちに全部あげて。
こういう事をやってましたね。

今も色々な工夫と改善を、埼玉県知事としてやりすぎて、
皆様が迷惑をしているんですよ。(笑)

高校生の時は、800mで市内の記録をつくったり、
バレーボールの主将をしていました。
あまり上手ではなかったのですが、
リーダーシップはとっていましたね。

私の両親は、私のことをずっと普通だと思っていたらしく、
父の所で働いていた協同組合の職員のお母さんから、
学業も運動もトップクラスだと聞いて、驚いたそうです。

Q3.上田知事のご家族のことを教えていただけますか？

妻は同郷で、柳川市の生まれですね。子供は3人おまして、娘は結婚しましたので、長男と次男と一緒に暮らしています。

子どもたちには、遊んであげたことはあるんですが、こうあるべきだと言うことはいわないですね。背中で感じてくれればいいなあと思っていますが。なかなか感じないみたいですが。(笑)

母親の方に似て、ゆっくりしてましてね。私はせかせかと一日無駄のないように生きるタイプですから、明日やることも今日やりたいと思う人間です。

Q4.衆議院議員になられるまで4度の落選がありましたが、その時、ご家族は？

私は、落選していた当初から、結婚していたのですが、支えてくれたのは、まァ!のんびりしている妻でよかったんですね。

きりきりするような性格だったら、ダメだったかも知れませんね。大らかにかまえてくれて助かりました。

妻は兄1人と姉4人の6人兄姉の末っ子で、実家は農家で、私の実家とあまり違和感がなくて、波長が合っています。

そんな妻に育てられたので、子どもたちものびのびして、ゆっくりしています。妻が文句を言わなかったことが、最大の支えだったのかも知れませんね。

街頭演説を朝早くから夜遅くまで、当選するまでやっていましたね。

支持者を拡大する活動に出かける時に、よく長男を車に乗せて出かけましたね。

車に待たせておいて、近くに公園があると止まって遊んであげて、気分転換したりしてましたね。長男はついてくるのが好きだったんですね。

娘は、“後援者”まわりを、“公園”まわりと間違えて、「お父さん、公園はいつ寄るの?」「いや、後援者まわりなんだけどね」と言って、娘と公園に寄って遊んだりしたこともありましたね。

知名度がない私は、「一日立ち」というのを良くやりました。朝から夜まで、同じ場所で演説です。

朝見た人が、また帰りも私のこと見て、「ええ」という感じでびっくりするんです。すると皆さんの頭の中にしっかりと入っていくんですね。

大宮駅や上尾駅では特によくやりました。その時、ビラではなく、私の名刺を渡しましたね。1日6000枚～7000枚を渡した時もありました。

ビラは捨てるけど、名刺は捨てない捨てられないということで、最後は名刺を手渡しましたね。やはり工夫改善をして、名刺が良いという形になりました。

Q5.上田知事が政治において大事にされていることは?

行政は時として、県民のためでなく、組織のための仕事をする場合があります。いかに県民マインドにするかが重要です。

行政は、今まで前例があったことはいいけど、今までやった事がない事をするのが、苦手でね。ぐずぐずするんですよ。

あと、ずっとね、結論を出さないで。
棚の上にあげっぱなし、あげくの果て、
すみませんでしたと言うことだったら最悪だと。

出来るか出来ないかは、大半のことはわかると。
出来るなら出来そうで、どのくらい時間がかかるのか、
きちんと明らかにしろと。

自分の身を守る事ばかりでね。
県民を守ろとしてないじゃないかと。
そう言うことが、役所ってあるんですよ。
何のために、自分たちがいるかって忘れちゃって。

欲、得を抜きにして、あちこちで活動している人たちが、
たくさんいますね。はせがわさんたちもそうなのですが、
それがすごいですね。

だから、私は、埼玉県庁ではぐずぐずさせないんですよ。
2日以内に結論を出せと、出来るか出来ないか、
また2日以内に、一週間待ってほしいとの結論を出しなさいと。

埼玉県庁は100人いれば80人ぐらいは、
意識が変わっていています。
埼玉県の窓口に行けば、それはいい事ですよと、
いい知恵がないかと考えてくれる人が多くなっています。

こんなことやったことがないです、と
逃げる人もいますけどね。
そういうことがバレたら、わたしから怒られますから。

Q6.上田知事にとってのスターリイマンは誰ですか？

いっぱいいますね。その都度、必要な人たちを持って、
乗り越えるようにして来まして。

憧れの人はかなり「私利私欲」を捨てた方ですね。
西郷隆盛みたいな。
他にも国家のために私情を捨て、友情を捨てた
決断が出来る、大久保利通や、
藩を捨て日本を変えようとした、坂本竜馬です。

☆第7話 埼玉から日本を変える☆
埼玉県知事 上田清司 氏

第3章は、4月9日(水)配信予定です!

皆様、上田知事の家族の原風景は、
いかがだったでしょうか?

お父様とお母様のDANを受け継ぎ、
九州男児の心意気と無私の心で、
常に創意工夫を行いながら
県政の経営をしている上田知事。

インタビュー中は、始終穏やかで
温かい笑顔を見せてくださった上田知事は、
周りの人々を幸せにする魅力溢れる
スターリイマンでした。

さて、今回は、第3章 上田知事のスターリイマンに宛てた
感謝の風船ラブレターをお届けいたします。
配信は、4月9日(水)となります。
皆様、どうぞお楽しみにお待ちください☆

☆後記☆

3月25日は、茨城県にある鹿島神宮に行って参りました。

次回、第8話「今を生きるスターリイマンの物語」で
ご紹介させて頂く、鹿島神宮 宮司 鹿島則良氏に
インタビューをさせて頂きました。

当日は、東日本大震災で倒壊してしまった
日本一大きな石の鳥居がようやく再建となり、
神社境内の杉の木で出来た鳥居が立ち上がった
おめでたいお祝いの日でした。

そして、4月1日に行われる「奥宮春祭」では、
鹿島の大神様の荒魂が祀られている奥宮の前で
鹿島の作品である「幸せをつなぐ祈りのきずな」の
絵とお話の朗読公演をさせて頂く事になりました。

<http://www.kashimajingu.jp/wp/event/okunomiyag01.htm>

万葉の時代、関西地方の人は、常陸国(茨城県の旧名称)を
別名「日出ずる国(ひいずるくに)」と呼んでいたそうです。

この鹿島の地から、日本中を照らす希望の朝日が昇り、
日本復興再生に向けた「鹿島立ち」となりますように…

4月1日は、鹿島の神様から力強いエネルギーを頂き、
これからの活動や創作の力にしたいと思います。

それでは、皆様も素敵な春をお迎えくださいませ。

はせがわ芳見

★*...*****★

メールマガジンで語り伝える 「今を生きるスターリマンの物語」
～感謝の風船ラブレター～ 2014.04.09 vol.22

★*...*****★

☆ごあいさつ☆

皆様、お元気ですか？

こここのところのポカポカ陽気。
桜のお花も見頃を過ぎてしまいましたね。

さて、先週末に近くの小・中学校の横を通ると、
入学式帰りの親子に出会いました。

晴れの喜びいっぱい姿に、
思わず懐かしい娘との思い出が
ふわ～っと私の心に優しい風を
運んで来てくれました。

桜から届いた素敵な春の贈りもの。
これから関東以北の皆様にも、
あたたかな幸せを運んでいくことでしょう。

さて、第7話「今を生きるスターリマンの物語」。
本日は、第3章の埼玉県知事 上田清司氏の
スターリマンに宛てた感謝の風船レターをお送り致します。

最後までお読み頂けましたら大変嬉しく思います。

☆第7話 埼玉から日本を変える☆

埼玉県知事 上田清司 氏

第3章 ～上田清司氏のスターリイマンに宛てた感謝の風船レター～

私にとってスターリイマンということになれば、登場人物が多すぎて紹介しなかった方々から批判されるかも知れません。

まずは、私に礼儀作法を繰り返し教えてくれた母が浮かびます。

少し無器用な私は人より何事も時間がかかったと思いますが、根気よく教えてくれました。

父は歴史上の人物の話をよくしてくれましたので、結果として私の読書好きの案内人になってくれました。

知識は多くの支持者を獲得するうえで大きな武器になりました。乱読、多読が多くの方々との対話のネタになり、今も挨拶のネタになっています。

次に思い浮かぶのは、小学校5、6年の時の担任であった杉野道子先生です。

この先生は算数と国語の単元が終わるたびにテストをして、半数が不合格になるように高い合格点を設定していました。

そして、居残り組に、もう一度教え、さらに高い点を設定し、クリアしたものだけが帰宅できるようになっていました。

私などはこのおかげで、算数と国語の基礎ができ、その後、中学、高校と順調に進みました。現在の学校教育で同じようなことをやっていただければ、落ちこぼれなどいなくなってしまうと思います。

さて、私は一度目の衆院選は員数要員候補としての出馬ですのでやや責任がないといえ、その後3回落選しています。

人から見れば落選ですが、2度目も3度目も
順調に得票が増え、支持者も拡大し、
それなりの手ごたえを感じていました。

4回目はもともと当選予定にしていたし、
世論調査などでもいい数字が出ていました。
後援会も盛り上がり、万全の体制が進められていました。

結果は落選、この時のショックは大きく、
「死なない程度の病気にでもなれば、この戦いから逃げることができる」
とまで考えたことがありました。

勝つ選挙で負けた、しかしよく考えると負ける要因も数多くありました。

スランプに悩む私を励まし、再び立ち上がらせてくれたのも、
多くの同志、支援者でした。

そして、この時から世論調査を含め、
より正確な現状分析をするようになりました。
加えて、首脳陣の団結、役割分担の明確化など
戦う軍団の体制がとれるようになりました。

結果として5度目でトップ当選し、
衆議院議員として政治の現場で活躍できるようになり、
屈指の選挙巧者といわれるまでになりました。

その後、県知事に転進した訳ですが、
この間、私を支えていただいた方々は全て、
スターリイマンということになります。

ある意味では、私ほど多くのスターリイマンがいる人間は
いないかも知れません。

1980年、初出馬の時、旧埼玉5区10市2町の120万人中、
知人友人は3人しかいなかったのです。

平成26年4月2日

埼玉県知事 上田 清司

「今を生きるスターリマンの物語」

☆第8話 日本建国から受け継ぐ日本復興再生の道を支える☆

常陸一之宮鹿島神宮 宮司 鹿島則良 氏

第1章は、4月19日(土)配信予定です!

さて、上田知事のスターリマンに宛てた
感謝の風船レターはいかがでしたでしょうか?

私は、上田知事の感謝の風船レターにある
「ある意味で、私ほど多くのスターリマンがいる人間は
いないかも知れません」のお気持ちに、
今を生きるスターリマンの上田知事を垣間みました。

自分を支えてくださった、たくさんのスターリマンたちに、
出会い、いつも忘れずに感謝されているからこそ、
上田知事はスターリマンとなって、志した夢に向かって、
精一杯に尽くされているのだということを知りました。

これからも、日本を愛し、真っ直ぐな美しい心のリーダーとして、
今後益々のご活躍を心より願っております。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、次回から「今を生きるスターリマンの物語」の第8話、
日本建国から受け継ぐ日本復興再生の道を支える
常陸一之宮鹿島神宮 宮司 鹿島則良 氏をお送り致します。

配信は、4月19日(土)となります。
皆様、どうぞお楽しみにお待ちください☆

☆後記☆

昨日は、NPO法人テラルネッサンスの鬼丸昌也さんが、
奥様でモデルの笹川暢子さんと一緒に
インタビューのために我が家にお越しく下さいました。

これまでご紹介させていただいた中で一番、
娘と年齢が近い鬼丸さんは、娘にとって
心から尊敬し、憧れているお一人ですが、
いつもお兄さんのように接して下さって、
昨日もとっても素敵な時間を過ごすことが出来ました。

この時期は、一年の中でも新しい方との出会いが
一番多い時だと思えます。
皆様の人生が豊かになるご縁に恵まれますように…☆

それでは、本日もお読みいただきまして、
どうもありがとうございました。
またお会いする日までお元気でお過ごしくださいませ。

はせがわ芳見